

ぐんま広報

No.349 2018 6

発行：群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-2162 027-243-3600
 県ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>

県対人前月：1,951,183人
 前月：-3,851人
 男女：963,444人
 987,739人
 世帯数：793,916世帯
 (県移動人口調査・平成30年4月1日現在)

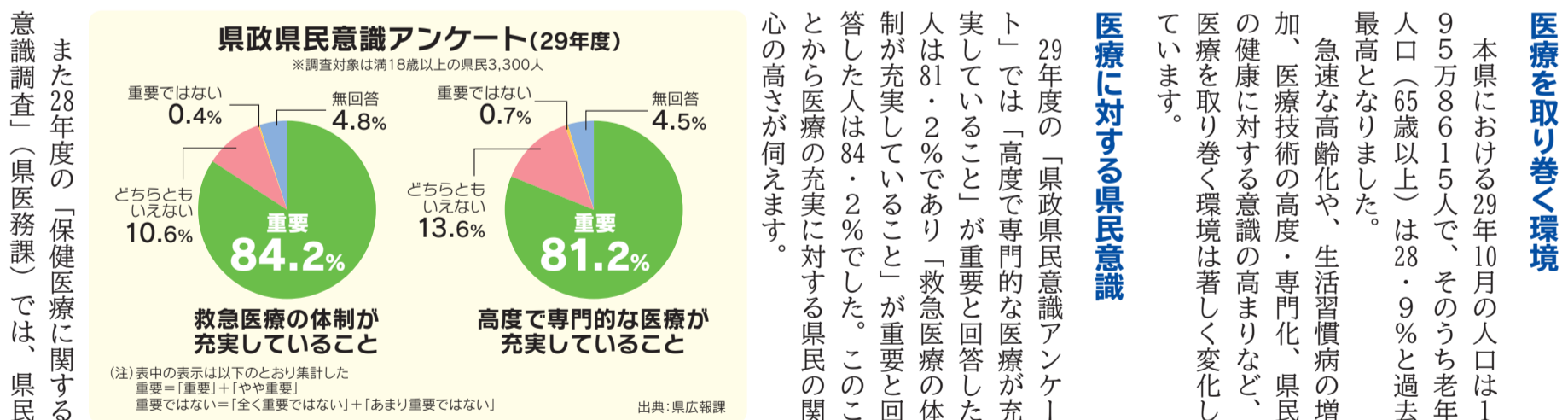


心のググっと
 ぐんま
 かくかく体験新発見



特集 医療先進県ぐんまを目指して

病気や事故、自然災害などは、誰の身にも起こり得ます。県は県民ニーズに対応した高度・専門医療や救急・災害医療の提供・充実などを通じ、県民が安全で安心できる暮らしを実現するため、医療先進県ぐんまを目指します。



医療を取り巻く環境

本県における29年10月の人口は195万8615人で、そのうち老年人口（65歳以上）は28・9%と過去最高となりました。急速な高齢化や、生活習慣病の増加、医療技術の高度・専門化、県民の健康に対する意識の高まりなど、医療を取り巻く環境は著しく変化しています。

医療に対する県民意識

29年度の「県政県民意識アンケート」では「高度で専門的な医療が充実していること」が重要と回答した人は81・2%であり「救急医療の体制が充実していること」が重要と回答した人は84・2%でした。このことから医療の充実に対する県民の関心の高さが伺えます。

県民が求める医療のために

こうした県民ニーズの高まりを見据え、第15次県総合計画「はばたけ群馬プランII」では、基本目標の一つ「誰もが安全で安心できる暮らしづくり」実現のため、三つの施策の柱を掲げ「医療先進県ぐんま」を推進しています。

- ・**県立病院における高度・専門医療の提供**
心疾患、がん、精神医療、周産期を含む小児医療の各分野において、専門性を生かし県民ニーズに対応した高度な医療を推進します。
- ・**また救急医療の提供体制を充実させ、各分野の中心的な病院として、地域の医療機関との連携を強化します。**
- ・**がん対策等高度先進医療の推進**
重粒子線治療の普及啓発や、治療に関する情報提供を行い、治療を受けやすい環境づくりを推進します。また重粒子線治療施設を活用した高度先進医療を推進します。
- ・**救急・災害医療対策**
ドクターヘリの運航や救命救急センターの運営を支援し、救急医療体制を整備します。
- ・**さらに県内に17ある災害拠点病院の機能強化やDMAT（災害派遣医療チーム）の隊員養成など、災害医療体制を整備します。**

高度・専門医療を提供する県立病院をはじめ、医療先進県ぐんまを目指す県の取り組みを紹介します。

イベント情報

※県観光情報誌「ググっとぐんま（春号）」に掲載されている主なイベントを紹介します。詳しくはお問い合わせください
 ※内容が変更になることがあります。お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
赤城山新緑&つつじウィーク	6月24日(日)まで	赤城山各所	関東でも屈指のつつじの名所、赤城山。期間中に、スタンプ二つ（赤城神社で一つ、協力店で一つ）を集めて応募すると、抽選で豪華景品が当たります	無料	前橋観光コンベンション協会 ☎027-235-2211 027-235-2233
赤堀花しょうぶ園	6月24日(日)まで	赤堀花しょうぶ園（伊勢崎市下触町）	国指定史跡「女堀」の中に約2万5千株の白や紫などのハナショウブが一斉に咲き乱れます	無料	伊勢崎市赤堀経済振興室 ☎0270-62-1151 0270-62-7638
下仁田あじさい祭り	6月9日(土)～7月8日(日)	下仁田あじさい園（下仁田町馬山）	関東最大規模のアジサイの楽園。3畝の敷地では約2万株のアジサイと約1,200本のサルズペリが見られます	無料	下仁田町観光協会 ☎0274-67-7500 0274-67-7501
荻窪公園「アジサイの丘」	6月中旬～7月上旬	荻窪公園（前橋市荻窪町）	道の駅「赤城の恵」に併設され、10種類・約1万6千株のアジサイが咲きます。6月17日(日)には、アジサイまつりが開催されます	無料	前橋市公園管理事務所 ☎027-225-2116 027-225-2117

おたよりコーナー

クロスワードパズルへの応募はがき・メールを紹介します

◆若い頃は単純に「長生き＝幸せ」と考えていましたが、現在は幸せのためには健康が不可欠であると実感しています。
 ぐんま元氣（GENKI）の5か条を参考に「健康で長生き」を目指し、人生を楽しく過ごしたいと思います。
 （東吾妻町 54歳）

◆群馬県に引っ越してきて1年がたちました。こんにやくが有名なだけあって、こんにやくまつりがあるんですね！楽しそうです。特集のぐんま元氣の5か条も覚えやすいですね。親に元気でいてもらいたいです。自分たち家族も笑顔で健康に過ごしていくために参考にしたいと思います。
 （伊勢崎市 32歳）

※掲載された人には、ぐんまちゃんのぬいぐるみをプレゼントします

クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料ご招待券（2枚組み）」などを各5人にプレゼントします

5月号の答えは「ウオーキング」でした。応募総数は1,229通でした。たくさんのご応募・ご意見をありがとうございました。

●たてのかぎ
 1 つる性の落葉植物。壁や塀などにはわせる
 2 陸が海に接している所。海辺
 4 自分で食事を作ること
 6 魚や貝などを、しょうゆやみりんなどで味濃く煮詰めたもの
 8 関西地方での芸者の呼び名
 9 織物を切ったもの。布地

●よこのかぎ
 1 刀や剣などの手で握る部分。刀の〇〇
 3 低木林や草原にすむ日本特産の鳥。日本の国鳥
 5 主にニット素材でできた、腰から爪先までを肌に着るように包む衣服
 7 学問と芸術。〇〇〇〇会
 9 現代に近い時代。〇〇〇〇化
 10 うれしそうに笑みをふくむさま。〇〇〇と笑う

※Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。
 ①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名（ふりがな） ⑤年齢 ⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想 ⑦希望の賞品名を書いてください（Eメールは件名に「クロスワードパズル6月」と記入してください）

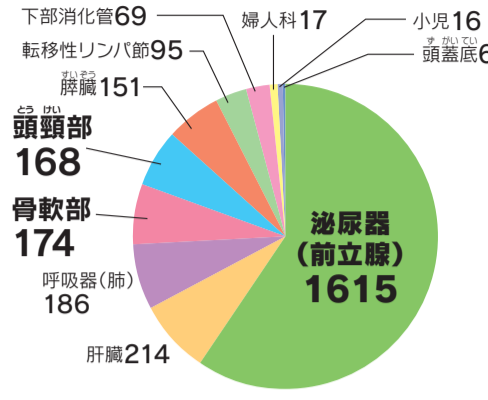
応募先
 ・はがき 〒371-8570 群馬県庁広報課クロスワードパズル係
 ・Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
 ・電子申請 <http://www.shinsei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html>
 ※スマートフォン（Android 5以上およびiOS 5以上）用のURLは右図から読み取れます

応募期限 6月13日(水)消印有効
 ※Eメール、電子申請は13日送信分まで
 賞品 次の中から希望のものを一つ明記してください
 近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、カネコ種苗ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトバック、ぐんまちゃんグッズ、サスバクサツ群馬（7月1日カターレ富山戦）、群馬ダイヤモンドベガス（今シーズンホームゲーム共通）、群馬交響楽団定期演奏会（7月14日）
 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

編集室だより

先日、思いがけず体調を崩してしまい病院にお世話になりました。健康な時にはあまり意識していないものですが、自分や家族が病気になった時、十分な医療が受けられることは本当にありがたいことです。いざというときの救急医療や災害医療、高度で専門的な医療の体制が整っていることで私たちは安心して暮らすことができる実感しました。自分でも生活習慣を見直すなど、健康には気を付けていきたいと思っています。
 （小柏）

群馬大学の重粒子線がん治療実績(人数) (22年3月~30年3月)



●がん病巣に集中して照射
周辺の正常部位にはダメージが少ないため、一般的なエックス線による放射線治療に比べ副作用が少ない。

●エックス線が効きにくいがんにも効く
ダメージを与える効果が高いため、エックス線では治りにくいとされてきたがんにも効果を発揮する。

●短期間(平均3週間)で治療できる
エックス線治療(6~7週間)と比べ、照射回数を減らすことができるため、短い期間で治療できる。

重粒子線がん治療
群馬大学重粒子線医学センターは、22年に県と群馬大学が共同で整備しました。同様の施設は現在国内に5カ所ありますが、大学に設置されるものとしては唯一となります。30年3月末までに2711人の治療実績があり、疾患部位では泌尿器(前立腺)が1615人と最も多く、全体の約6割を占めています。日本人の2人に1人はがんになる時代を迎え、重粒子線治療はがん治療法の有力な選択肢として期待されています。

重粒子線がん治療

保険適用されるがん
●前立腺がん(転移のないもの)
●頭頸部悪性腫瘍(口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く)
※◎は30年4月から新たに適用

公的医療保険が適用される場合は、医療費総額の1~3割が自己負担となり、さらに高額療養費制度が利用できます。

公的医療保険が適用されない先進医療の場合、群馬大学の重粒子線治療は314万円かかりますが、徐々に保険適用の範囲が広がっています。

骨軟部腫瘍(切除非適応)
前立腺がん(転移のないもの)
頭頸部悪性腫瘍(口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く)
◎は30年4月から新たに適用

保険適用範囲の拡大
公的医療保険が適用されない先進医療の場合、群馬大学の重粒子線治療は314万円かかりますが、徐々に保険適用の範囲が広がっています。

広がるがん治療の選択肢

「重粒子線治療は、がん治療の一つの選択肢です。一般的には手術、抗がん剤、放射線などの治療方法がありますが、患者さんの病状などにより最適な方法を検討していきます。」

患者さんには重粒子線治療による効果だけでなく、起こり得る再発や副作用についても十分に説明

重粒子線治療について、群馬大学重粒子線医学センターの大野副センター長に伺いました。

「重粒子線治療は、がん治療の一つの選択肢です。一般的には手術、抗がん剤、放射線などの治療方法がありますが、患者さんの病状などにより最適な方法を検討していきます。」

患者さんには重粒子線治療による効果だけでなく、起こり得る再発や副作用についても十分に説明



大野達也さん

この制度では、事前に「限度額適用認定証」を保険者に発行してもらい窓口提示すると、ひと月の支払額が一定額を超えた場合、自己負担

公的医療保険が適用される場合は、医療費総額の1~3割が自己負担となり、さらに高額療養費制度が利用できます。

対象融資限度額 314万円(7年間の返済を限度)
補助率 6%を限度として、次の区分により支給

重粒子線治療資金利子補給制度

県では経済的負担を軽減するため、重粒子線治療費を金融機関から借りた場合の利子の一部を補給するなど、治療を受けやすい環境整備に努めています。

医療の地域連携
「当センターは大学病院に併設しているため、重粒子線治療と他のがん治療の併用が必要な場合にも対応できることや、がん以外の持病がある人でも専門の医療チームで診療できることが強みです。重粒子線治療に特化した施設として、専門的な治療をした後は、地元のかかりつけ医と協力して経過観察していきます。」

こうした地域との連携体制がさらに充実することで、群馬県全体が一つの大きな病院のようになることが理想です。」

対象 県内に1年以上在住している患者、またはその親族で、治療を受けるために治療費を金融機関などから借りた人

対象融資限度額 314万円(7年間の返済を限度)
補助率 6%を限度として、次の区分により支給

患者が課税世帯の場合:借入利率の5/10
患者が非課税世帯の場合:10/10

心臓血管センター 県民健康公開講座「脂質異常症と血管の病気にについて」
期日 6月22日(金)
時間 午後6時~7時30分
会場 県立心臓血管センター(前橋市亀泉町)

県民講演会「ぐんまの重粒子線がん治療」

期日 6月17日(日)
時間 午後1時30分~3時30分(受け付けは1時から)
場所 群馬会館(前橋市大手町)
内容 重粒子線がん治療装置や治療実績、治療の流れや治療法などを分かりやすく紹介します

「ご参加ください」
県民講演会「ぐんまの重粒子線がん治療」
期日 6月17日(日)
時間 午後1時30分~3時30分(受け付けは1時から)
場所 群馬会館(前橋市大手町)
内容 重粒子線がん治療装置や治療実績、治療の流れや治療法などを分かりやすく紹介します

お問い合わせ先
県庁医療課
☎027・226・2535
☎027・223・0531
県庁病院局総務課
☎027・226・2710
☎027・221・8818

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください
その他 自動車でお越しの場合は、県庁県民駐車場(前橋市大手町)をご利用ください

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください
その他 自動車でお越しの場合は、県庁県民駐車場(前橋市大手町)をご利用ください

お問い合わせ先
県庁医療課
☎027・226・2535
☎027・223・0531
県庁病院局総務課
☎027・226・2710
☎027・221・8818

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください
その他 自動車でお越しの場合は、県庁県民駐車場(前橋市大手町)をご利用ください

お問い合わせ先
県庁医療課
☎027・226・2535
☎027・223・0531
県庁病院局総務課
☎027・226・2710
☎027・221・8818

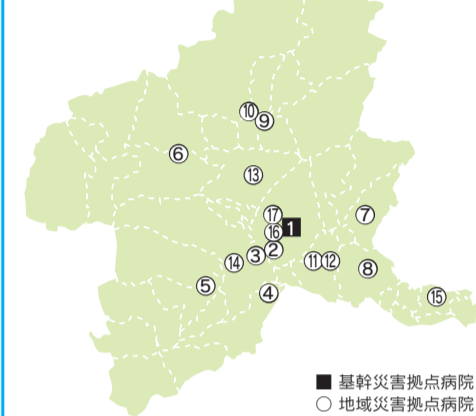
救急・災害医療の取り組み

本県の救急医療は、軽度の患者に対する初期救急医療から緊急を要する救命救急医療まで、患者の重症度などにより医療機関が連携して治療に当たる体制になっています。

本県には、重篤な救急患者を24時間いつでも受け入れることができる救命救急センターが四つの病院に設置されています。そのうち前橋赤十字病院には、県内唯一の高度救命救急センターが設置されています。

救命救急センターは、災害拠点病院としての機能も併せ持ち、災害時にDMATを派遣するなど、災害に備えて積極的な役割を果たすことが求められています。

県内の災害拠点病院



病院名
1 前橋赤十字病院
2 群馬県済生会前橋病院
3 日高病院
4 公立藤岡総合病院
5 公立富岡総合病院
6 原町赤十字病院
7 桐生厚生総合病院
8 太田記念病院
9 国立病院機構沼田病院
10 利根中央病院
11 伊勢崎市市民病院
12 伊勢崎佐波医師会病院
13 国立病院機構渋川医療センター
14 国立病院機構高崎総合医療センター
15 公立館林厚生病院
16 群馬中央病院
17 群馬大学医学部付属病院

※災害拠点病院とは、災害時における初期救急医療体制の充実強化を図るための医療機関



中村光伸さん

救急・災害医療について、県災害医療コーディネーターも務める前橋赤十字病院高度救命救急センターの中村センター長に伺いました

また災害医療では、救急医療の経験や知識が生かされます。1月に起きた本白根山の噴火ではDMATの出動が要請され、ドクターヘリを活用して西吾妻福祉病院へ医師を運んだり、負傷者を前橋市内の病院へ搬送したりしました。ドクターヘリの運航など、救急医療の仕組みがしっかりとできていくかどうか、災害時の対応に大きく影響すると考えています」

災害拠点病院として

「前橋赤十字病院は県の基幹災害拠点病院に指定され、災害時の医療連携体制を考えたり訓練を計画したりする役割を担っています。災害現場で必要な専門知識と技術は、研修と訓練で補っていく必要があります。一人でも多くの命を救うために、災害医療研修を県と一緒に積極的に進めていきたいと思います」



本白根山噴火のため西吾妻福祉病院に参集したDMAT

災害医療研修

県では、前橋赤十字病院をはじめとした各機関と協力し、災害医療に関するさまざまな研修を行っています。29年7月には、DMAT指定医療機関や消防職員を対象に、DMATを新規養成する研修を開催しました。また隊員の技能を向上させるため、昨年度は群馬大学付属病院や鉄道会社の訓練施設なども協力して、参加対象や想定される災害の内容などが異なる5回の研修を行い、合計201人が受講しました。

県立病院の役割

本県には専門分野(心疾患、がん、精神医療、周産期を含む小児医療)に特化した四つの県立病院があり、それぞれが県内の中核を担う専門病院として、高度な医療を提供しています。

●心臓血管センター(前橋市)

本県の心疾患医療の中核として、ハイブリッド手術室などを活用した高度・専門医療を行っています。また予防から治療、回復までを対象にした心臓リハビリテーションを実施しています。

●がんセンター(太田市)

地域がん診療連携拠点病院に指定され、東毛地域のがん診療の拠点として地域医療に貢献しています。今年3月に最新の3・0テスラのMRI(磁気共鳴診断装置)を導入し、より高画質な全身画像を一度の撮影で得られるようになりました。

県立病院の高度・専門医療への取り組みについて、心臓血管センターの内藤院長に伺いました



内藤滋人さん

●高度・専門医療を追求

「県立病院の使命は、地域において必要とされる医療のうち、高度な専門性や採算性などの面から、他の医療機関では提供が困難な医療を提供が可能になりました」

●精神医療センター(伊勢崎市)

本県における精神医療の基幹病院として、入院治療から退院後の地域生活支援まで一貫した治療・支援体制を構築しています。

●小児医療センター(渋川市)

専門医と医療技術者によるチーム医療体制をはじめ、PICU(小児集中治療室)などの施設や高度医療機器を整備し、難病・重症患者を受け入れています。

また併設している総合周産期母子医療センターは、県内の周産期医療の中核的機能を担う他、リスクが懸念される分娩にも対応しています。緊急時には、保育器などの設備を備えたNICU車(新生児専用搬送車)により、新生児を治療しながら搬送します。

療を安定的かつ継続的に提供することです。

当センターでは、24時間体制で専門の医師や医療スタッフが心疾患の救命救急に取り組んでいます。遠隔地からドクターヘリで搬送される救急患者も受け入れています。また27年に導入したハイブリッド手術室では、手術台と心臓エックス線撮影装置を併設し、カテーテルを使用した内科的治療と切開を伴う外科的治療を組み合わせたカテーテル治療中に状況によった開胸手術に移行できるなど、医療安全の面からも優れた高度な医療の提供が可能になりました」

知事コラム

夏のぐんまをアピール

32年春群馬DC開催決定

今年の「ググっとぐんま観光光キャノンペン」は、7月から9月までの3カ月間開催します。

「水源原ぐんま」ならではの「水」はもちろん、今夏に全線開通が予定されている「ぐんま県境縦線トレイル」などの「山」、またユネスコ「世界の記憶」に登録された「上野三碑」や東国文化などの「歴史」を切り口で、新しい魅力を創出し、夏の群馬を強くアピールしていきます。

さらに、32年4月から6月には9年ぶりとなる「群馬ステイネーションキャンペーン」(群馬DC)「

お知らせ

県民防犯運動

自主防犯意識を高め、安全で安心な暮らしを実現させるため「県民防犯運動」を実施します。地域や家族との絆を深めて、犯罪被害を防ぎましょう。

期間 6月11日～20日

運動重点

- 子ども女性の犯罪被害防止
- ・夜間の一人歩きやスマートフォンを操作しながら歩くのは危険です。人通りのある道や明るい道を選び、周囲への注意を怠らないようにしましょう
- 特殊詐欺の被害防止
- ・オレオレ詐欺・還付金等詐欺の被害が増えています
- ・犯人からの電話を受けないように、在宅中でも留守番電話に設定しておくなどの対策をしましょう
- ・電話で「お金を用意して」「キャッシュカードを預かる」などと言われるたら、詐欺を疑い、警察に相談しましょう
- ・乗り物盗の被害防止
- ・ドアロックや二重ロック(自転車)を確実にしましょう
- 住宅対象の侵入窃盗の被害防止
- ・外出する際は、少しの時間でも必ず鍵を掛けましょう
- 県警察本部生活安全企画課 ☎027・243・0110内線3051 ☎027・263・7866

の開催が決定しました。時期を同じくしてコンベンション施設「Gメッセ群馬」が高崎駅の近くに完成します。また同年7月には「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されるなど、広く国内外に群馬県をPRする絶好の機会です。

皆様と一緒にオール群馬で取り組んでいきます。

労働保険の年度更新

労働保険の保険料は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間を単位として計算されます。金額は、全ての労働者に支払われる賞金の総額に、事業ごとに定められた保険料率を乗じて算定されます。

また年度ごとに概算で保険料を納付し、年度末に賞金総額が確定した後に精算する方法をとっています。そのため事業主は、前年度の保険料を精算するための確定保険料の申告・納付と、新年度の概算保険料を納付するための申告・納付の手続きが必要で

※厚生労働省から5月31日(木)までに送付されます

※手続き期限 7月10日(火)

その他 手続きが遅れると政府が労働保険料・一般拠出金の額を決定し、さらに追徴金(労働保険料・一般拠出金の10%)を課することがありますので、「ご注意ください」

☎群馬労働局労働保険徴収室 ☎027・896・4734 ☎027・896・2097、県内労働基準監督署・公共職業安定所、県庁労働政策課 ☎027・226・3402 ☎027・237・566

ご利用ください

母子父子寡婦福祉資金貸付金

「ひとり親家庭」の経済的自立の支援や子どもの福祉の増進を図るため、資金の貸し付けをしています。

対象 母子家庭の母(配偶者のいない女性)、20歳未満の子を扶養している人)、父子家庭の父(配偶者のいない男性)、20歳未満の子を扶養している人)、父母のいない20歳未満の子、寡婦(かつて母子家庭の母であった人) など

貸付資金の種類 修学、就学支度、修業、技能習得、生活、転宅、住宅、就職支度、事業開始、事業継続、医療介護、結婚などの資金

※詳しくはお問い合わせください

利率 無利子

※ただし一部資金は有利子(年利1%)

返済方法 口座引き落とし

※毎月払い、年2回払い、年1回払いのいずれか

申請方法 所定の申請用紙

告知、納付と、新年度の概算保険料を納付するための申告・納付の手続きが必要で

※厚生労働省から5月31日(木)までに送付されます

※手続き期限 7月10日(火)

その他 手続きが遅れると政府が労働保険料・一般拠出金の額を決定し、さらに追徴金(労働保険料・一般拠出金の10%)を課することがありますので、「ご注意ください」

☎群馬労働局労働保険徴収室 ☎027・896・4734 ☎027・896・2097、県内労働基準監督署・公共職業安定所、県庁労働政策課 ☎027・226・3402 ☎027・237・566

「地域安全マップ」を「つくりませんか」

犯罪が起こりやすいといわれる場所などを地図上に示して注意喚起を図るものです。

地域安全マップづくりは、子どもが体験を通して、自らの危険回避能力を高めることのできる防犯学習プログラムです。県では地域安全マップづくりを促進するため、講師を派遣して支援しています

内容 地域安全マップの説明、街歩き、地図作り、発表会

※5、6人の班で作業をします

※所要時間はおおむね4時間程度

講師 県職員、ボランティア

対象 県内在住の小中学生(中・高学年向け)

費用 無料

※会場費や開催広告費は開催者の負担になります

申込期限 実施希望日の1カ月前

申し込み方法 所定の申込用紙

※ぐんま電子申請受付システム (http://www.shinsei.jg-front.jp/gunma/nav/index.html) から申し込みます

その他

・会場には、班ごとに模造紙を置いて作業するスペースが必要です

・低学年向けの親子教室や大人向けの講習会なども実施しています

※詳しくはお問い合わせください

※申請前に必ず相談が必要で

その他

・審査の結果、利用できない場合もあります

・原則として連帯保証人が必要です

申請用紙配布場所・☎☎ 県保健福祉事務所、前橋市保健センター(前橋市朝日町) ☎027・220・5701 ☎027・243・6474)、高崎市子ども家庭課(高崎市高松町) ☎027・321・1247 ☎027・324・1849)

募集

「県子ども朗読大会」の出場者

詩や小説、随筆など、感動した文学作品の朗読を発表する児童・生徒を募集します。

対象 県内の小・中学校、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校の児童・生徒

募集部門 小学生低学年の部(1、3年生)、小学生高学年の部(4、6年生)、中学生の部

※選考により大会出場者(各部門8人程度)を決定します

応募期間 7月2日(月)～9月21日(金)

応募方法 所定の応募用紙

※学校を通して応募してください

その他

○県子ども朗読大会

・期日 12月15日(土)

・時間 午後1時～4時30分

・会場 県生涯学習センター(前橋)

申込用紙配布場所・☎ 県庁消費生活課 ☎027・226・2356 ☎027・236・8100

※申込用紙は、県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/05/0100150.html) から入手できます

申込用紙配布場所・☎ 県庁消費生活課 ☎027・226・2356 ☎027・236・8100

※申込用紙は、県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/05/0100150.html) から入手できます

試験

消防設備士試験

試験日 8月19日(日)

合格発表日 9月26日(水)

試験時間

- ・甲種(特類) 午前9時～11時45分
- ・甲種(1～5類) 9時～午後0時15分
- ・乙種(1～7類) 9時～10時45分

試験会場 県立前橋工業高等学校(前橋市石岡町)

試験内容 消防法(昭和23年法律第186号)第17条の8第2項に規定する甲種(特類・1～5類)・乙種(1～7類) 消防設備士試験

受験資格

○甲種消防設備士試験は次の受験資

市(京町)

- ・賞 各部門ごとに最優秀賞1人、優秀賞2人、奨励賞5人
- ※応募者全員に参加賞を、入賞者には副賞を進呈します

応募用紙配布場所・☎ 県庁生涯学習課 ☎027・226・4662 ☎027・224・8780

※応募用紙は、県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/03/3800115.html) から入手できます

朗読を発表する出場者

インフォメーション INFORMATION

県ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>

問い合わせの際は、番号を間違えないようにお願いします

☎は問い合わせ先、☎は相談先、☎は申込先、✉はEメールアドレス、🌐はホームページです

*印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料です。証明できるものをお持ちください

忘れていませんか？自動車税

自動車税の納期限は5月31日です。うっかり納め忘れた人、口座振替で引き落としにならなかった人はいませんか。

まだ納めていない人は、急いで納めましょう。

納税場所 県内の金融機関、郵便局、県自動車税事務所(前橋市上泉町)、県行政県税事務所、コンビニエンスストア、「Pay-easy」対応のインターネットバンキング・モバイルバンキング・現金自動預払機(ATM)、「Yahoo! 公金支払い」ホームページ (https://koukin.yahoo.co.jp/) (クレジットカードによる納税)

その他 口座振替で5月31日に引き落としにならなかった場合や、納税通知書を紛失してしまった場合は、納付書を再送付します。県自動車税事務所または県行政県税事務所に連絡してください

☎ 県自動車税事務所 (☎027-263-4343 ☎027-261-5931)、県行政県税事務所



早めの避難が大切です みんなで防ごう土砂災害

6月は「土砂災害防止月間」です。梅雨から台風の時期にかけては降水量が多く、一年のうちでも土砂災害が発生しやすくなります。

土砂災害から身を守るためには、日頃から防災情報の収集に努め、危険な場所や避難場所、避難の道順などを家族や地域で話し合い、確認しておきましょう。

地鳴りなど土砂災害の前触れに気付いたときは早めに避難し、最寄りの県土木事務所や市役所・町村役場に通報しましょう

危険箇所・雨量情報・土砂災害警戒情報は、県ホームページ (http://www.kendoseibi.pref.gunma.jp/section/sabo/hp/main_page_01.htm) から確認できます。また雨量情報は、携帯電話 (http://www.uryou-gunma.jp/k/) から確認できます

☎ 県庁砂防課 (☎027-226-3632 ☎027-243-1680)

あなたのレシピが全国へ！「県きのこ料理コンクール」作品募集

対象 県内に在住または在勤、在学している人

内容 キノコを使用した料理のレシピ

- ・キノコは県産のものを使用
- ・食材費は4人分で2千円以内
- ※本審査は食材費2千円を支給します
- ・調理時間は60分以内(乾燥したキノコなどを水で戻す時間は除く)
- ・未発表のもの

賞 最優秀賞1点、優秀賞4点、優良賞・奨励賞若干 ※賞状と副賞を贈呈します

応募期間 6月18日(月)～9月28日(金) 応募方法 所定の応募票 ※詳しくは、県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/06/e3600109.html) をご確認ください

応募票配布場所 市役所・町村役場、県環境森林事務所、県森林事務所、県庁県民センター、県庁林業振興課、県森林組合連合会(前橋市上大島町) ※県ホームページ(前記)からも入手できます

その他

- ・1次審査(書類審査)通過作品は、12月1日(土)に山崎学園群馬調理師専門学校(前橋市小屋原町)で本審査(調理審査)を実施します
- ・最優秀賞の受賞者は、東京都で開催される全国大会に県代表として参加していただきます
- ・入賞レシピの著作権は県に帰属し、印刷物やクックパッド「ぐんまちゃんのキッチン」ホームページ (https://cookpad.com/kitchen/12696775) などに掲載する場合があります

☎ 県庁林業振興課 (☎027-226-3234 ☎027-223-0154)



スポーツの楽しさ体験！ 「県障害者スポーツ大会」参加者募集

期間 7月下旬～10月上旬

会場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター(前橋市関根町)他

競技種目(13種目) フライングディスク、アーチェリー、陸上競技、ポッチャ、サッカー、水泳など

対象 身体・知的・精神障害のある人

費用 無料 申込期間 6月上旬～7月上旬 申し込み方法 所定の申込用紙

申込用紙配布場所 市役所・町村役場、県保健福祉事務所、県立ふれあいスポーツプラザ、県立ゆうあいピック記念温水プールなど

※県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/02/d4210047.html) から入手できます

その他 全国障害者スポーツ大会の選考会も兼ねます。詳しくはお問い合わせいただくか、県ホームページ(前記)をご覧ください

☎ 県庁障害政策課 (☎027-226-2634 ☎027-224-4776)



マイナンバーで手続きが簡単に！

申請手続きの際に、住民票などの必要書類をそろえるのに苦労したことはありませんか。

マイナンバー制度の「情報連携」の開始により、マイナンバーを用いる行政手続きで、住民票や課税証明書などの添付書類を省略できるようになりました。

「情報連携」は、行政機関や地方自治体がそれぞれ保有している個人情報、必要な範囲で相互にやりとりすることで、添付書類を省略できる手続き

児童手当や介護保険などの地方自治体の手続きの他、健康保険関係やハローワーク関係の手続きなど

その他 詳しくは、内閣府ホームページ (http://www.cao.go.jp/bangouseido/) をご覧いただくか、お問い合わせください

☎ マイナンバー総合フリーダイヤル(フリーダイヤル0120-95-0178)、県庁情報政策課 (☎027-226-2345 ☎027-224-2812)

